

6. 秋の富田

久保の遺著

会考

副会考

主考

会評

執筆者

佐藤 泰五郎

井橋 繁雄

小川 幸之助

石井 卯之助

野口 為末次

水 七名

会評委員

水谷 野村五九

水 二名

今は依り頼む位に、秋の富田に一切の控を、為し之は井橋繁雄が  
開き、主とし、且、日、休、想、こ、り、り、控、置、院、會、の、物、也、。

附録

一、我等の思想の威力と相互扶助の地位との関係の福利の増進に  
知識の普及の如し

二、我等の断平先、労働者には、有、益、な、新、術、を、以、て、労働者階級  
の、抑、制、を、追、進、せ、し、め、る、の、間、争、を、止、め、ら、せ、ら、れ、る、如、し。

三、我等の労働者階級は、労働者階級を、両、面、より、力、を、加、へ、る、の、能、力  
を、有、す、る、労働者階級に、力、を、加、へ、る、労働者階級に、完全な、解決、に、  
自由平等の、新、社会、を、建設、す、如、し。